



# CHUO UNIVERSITY ROWING CLUB 中央大学漕艇部

2024年4月1日

漕艇部マネージャー：品川茉奈美

3月13日（水）アルカディア市ヶ谷において令和5年度 第70回 中央大学学員体育会総合祝勝会が開催され、学員会会長賞を受賞した是谷有輝さん（2016年入学/理工学部）にお話を伺いました。



Q：学長賞受賞おめでとうございます。受賞の感想をお聞かせください。

A：ありがとうございます。素直に嬉しかったです。どんな形であれ母校に貢献できたのであれば非常に嬉しいことだと思います。

Q：現在の活動をお聞かせください。

A：トヨタ紡織ボート部に所属し、企業で勤務しながらボート選手として活動しています。昨年は日本代表にも選出され、今は目の前の課題に日々取り組んでいます！

Q：日本代表に選ばれて心境の変化はありましたか？

A：漕ぎ方などチームによって特徴があり違うチームのメンバーと漕ぐことになるので最初はバラバラになってしまいます。そこを独りよがりにならず話し合っ擦り合わせながら一つの艇を作っていくのが大切なんだと以前より強く考えるようになりました。

Q：昨年は全日本選手権8＋種目でも優勝されましたが、チームでクルーを作る上で意識している点はありますか？

A：人間癖や体格が違うので、そういったどうしても変えられないところを理解した上で一つの艇を作るのは難しかったですが、水上以外の時間もボートについて話したり、他国の代表選手の映像を皆でみてイメージを共有することで合わせていきました。



Q：辛い時に切り替える方法などありますか？

A：あえて忙しい環境に身を置いて時が解決してくれると考えるようにしてます。

また、気持ちがきつい時こそ理論的に考えるようにしています。目標のためにやらなきゃいけないことはやったほうが絶対いいので！

Q：最後に後輩たちへ一言お願いします。

うまくいかないこと思ったようにいかないことも多いと思いますが、しっかり信念を持って最後まで貫き通してやれば結果もついてくると思います。結果も大事ですが過程もそれ以上に大事なので振り返った時に良い大学生活だったと思えるような活動をしていって欲しいです。

---

インタビューを終えて：

これまでも中大漕艇部のOBOGの方とお話しする機会は何度かありましたが、今回のインタビューが競技や活動について具体的にお話を伺わせていただく初めての機会となり、最初はとても緊張しました。ですが、是谷さんがインタビューしやすい雰囲気を作ってくれたこともあり、良い意味で堅くなり過ぎずにインタビューさせていただくことができました。是谷さんが話してくださった経験や考え方は部活動だけでなく普段の私たちの生活でも通ずることが多く、非常に勉強させていただくことが多い機会になりました！！

是谷さんのお話の中でも「辛くなってしまったときは理論的に考えるようにする」という考え方が印象に残っています。ボートでもそれ以外でも誰しも壁にぶつかることはあると思いますが、目的やそのためにやらなければならないことなどを理論的に考えてみようを思いました！今回のインタビューは私にとって非常に収穫の多い経験になりました。ありがとうございました！

2年マネージャー：品川茉奈美

---

写真提供：

トヨタ紡織ボート部  
日本ローイング協会